

|                          |  |         |                                  |
|--------------------------|--|---------|----------------------------------|
| 1. 科目名 (単位数)             | 教育方法論 (ICT 活用含む) (幼) (2 単位)  | 3. 科目番号 | SJMP2208                         |
| 2. 授業担当教員                | 後藤 泰博  |         |                                  |
| 4. 授業形態                  | 講義、演習  | 5. 開講学期 | 秋期                               |
| 6. 履修条件・他科目との関係          | 特に限定しないが、教育学概論を受講していることが望ましい   |         |                                  |
| 7. 講義概要                  | Society 5.0の社会に生きる子供たちの「個別最適な学びと協働的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、幼児期から発達に即した学びを体験させておく必要がある。幼児教育を担おうとする学生は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに、幼児の自発的な学びとしての「遊び」「模倣」等の意味を考えるとともに、「環境を通して行う教育」の方法の理論と実践について理解しておくことが重要である。本講義は、幼児教育を職務として携わる視点から、幼児・児童の側に立った指導方法、教材の検討、地域の人材活用、コンピュータなどの情報機器を利用した教育方法等について学習する。さらに、今日の課題である幼・保・小の校種間の連携や、家庭との連携のあり方について考える。                                |         |                                  |
| 8. 学習目標                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「環境を通して行う教育」の方法の理論と実践について理解する。</li> <li>2. 幼児の自発的な学びとしての「遊び」「模倣」等の意味を考え、幼児理解を深める。</li> <li>3. 幼児教育における保育の概念や様式についての理解を深めるとともに、コンピュータなどの情報機器を利用した教育方法等について理解する。</li> <li>4. 幼・保・小の連携や地域社会との連携のあり方について考え、自分の意見を言うことができる。</li> </ol>  |         |                                  |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | 学習前に教科書を読んでもらうことが好ましい、最低限前時に配布した課題プリントはやってもらうこと。レポートについては、講義の中で説明を行うが冬期休暇の前に800字程度、期末に1200字程度のレポートを提出する。   |         |                                  |
| 10. 教科書・参考書・教材           | <b>【教科書】</b><br>『実践につながる 新しい幼児教育の方法と技術』野津直樹 (編集) ミネルヴァ書房 2020<br><b>【参考書】</b><br>多田敏文著『教育の方法と技術』学芸図書株式会社   |         |                                  |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法        | ○成績評価の規準<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「環境を通して行う教育」の方法の理論と実践についておおむね理解できたか。</li> <li>2. 幼児教育の方法について、自分の考えや、疑問を持ち、討論などを通して深めることができたか。</li> <li>3. コンピュータなどの情報機器を利用した教育方法等について考えることができたか。</li> </ol> ○評定方法<br>[日常の授業態度、提出物等を総合して評価する]<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常の授業態度 (参加、実践、態度) 総合点の40%</li> <li>2. 授業後の提出物・レポート・テストなど 総合点の60%</li> </ol> |         |                                  |
| 12. 受講生へのメッセージ           | 幼児教育の方法の歴史と理論を体系的に概観し、幼児教育の様々な方法とその意味についていっしょに考えましょう   |         |                                  |
| 13. オフィスアワー              | 初回講義時に通知する   |         |                                  |
| 14. 授業展開及び授業内容           |  |         |                                  |
| 講義日程                     | 授業内容   | 学習課題    |                                  |
| 第1回                      | オリエンテーション  | 事前学習    | シラバスを読んで、学修の概要を知る。               |
|                          | 第1章 これからの時代における新しい幼児教育の可能性<br>1 心理学や脳科学からみた子どもの特徴<br>2 世界の幼児教育の現状  | 事後学習    | これからの時代における新しい幼児教育について考察する       |
| 第2回                      | 第2章 環境指導法<br>1 領域「環境」に関連する保育内容の歴史の変遷<br>2 子ども身近な環境について<br>3 主体的・対話的学びの推進役としての保育者   | 事前学習    | 教科書第2章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)        |
|                          |  | 事後学習    | 領域「環境」に関する内容についてその概要をまとめる。       |
| 第3回                      | 第3章 造形表現<br>1 表現が育むこと<br>2 造形表現の特質と課題<br>3 造形表現の展開   | 事前学習    | 教科書第3章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)        |
|                          |  | 事後学習    | 造形表現に関する内容についてその概要をまとめる。         |
| 第4回                      | 第4章 幼児教育における身体表現<br>1 子どもの育ちと身体表現<br>2 総合的な表現活動における身体表現<br>3 表現を引き出す保育者の技術<br>4 共に学ぶ保育への身体表現の可能性   | 事前学習    | 教科書第4章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)        |
|                          |  | 事後学習    | 身体表現に関する内容についてその概要をまとめる。         |
| 第5回                      | 第5章 新しい時代を生きる子どもたちの音楽<br>1 新しい時代に求められる「感性」と「表現」<br>2 子どもたちを音楽で支える<br>3 主体的で対話的な音楽遊び<br>4 社会の一員としての「小さな表現者」を育む意義  | 事前学習    | 教科書第5章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)        |
|                          |  | 事後学習    | 幼児の「感性」と「表現」に関する内容についてその概要をまとめる。 |
| 第6回                      | 第6章 幼児期の生活と言葉の発達<br>1 言葉の誕生<br>2 幼児期に育む言葉  | 事前学習    | 教科書第6章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)        |

|      |  |      |   |
|------|--|------|---|
|      | 3 現代社会の課題と言葉   | 事後学習 | 子どもの言葉の発達について整理する。                        |
| 第7回  | 第7章 幼児の算数的活動<br>1 幼児の算数的活動とは<br>2 数の学び<br>3 量の学び<br>4 図形・空間の学び   | 事前学習 | 教科書第7章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                 |
|      |  | 事後学習 | 算数的活動に関する内容についてその概要をまとめる。                 |
| 第8回  | 第8章 幼児期における科学教育<br>1 幼児にとって科学とは<br>2 科学の芽を育てる方法<br>3 小学校への学習に向けて   | 事前学習 | 教科書第8章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                 |
|      |  | 事後学習 | 幼児教育における科学教育について理解する。                     |
| 第9回  | 第9章 総合学習<br>1 総合学習の理論<br>2 総合学習の実践   | 事前学習 | 教科書第9章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                 |
|      |  | 事後学習 | 総合学習について理解する。                             |
| 第10回 | 第10章 保育と ICT<br>1 メディアとしての ICT<br>2 園務のための ICT の活用<br>3 保育活動支援のための ICT の活用<br>4 遊具としての ICT(コンピュータ)の活用      | 事前学習 | 教科書第10章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                |
|      |  | 事後学習 | 幼児教育と ICT の活用について考える。                     |
| 第11回 | 第11章 外国にルーツをもつ子どもたち<br>1 外国にルーツをもつ子どもの現状<br>2 外国にルーツをもつ子どもへの教育方法<br>3 多文化保育のための ICT の活用<br>4 多文化保育のための活動事例 | 事前学習 | 教科書第11章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                |
|      |  | 事後学習 | 外国にルーツをもつ子どもへの教育方法及び ICT の活用についてまとめる。     |
| 第12回 | 第12章 障害がある子どもたちの教育<br>1 障害の診断を受けた子どもたち<br>2 発達が気になる子どもたち<br>3 遊びのなかで育てる<br>4 インクルーシブ教育                     | 事前学習 | 教科書第12章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                |
|      |  | 事後学習 | 障害児について、その特徴と支援についてまとめる。                  |
| 第13回 | 第13章 虐待経験の影響と求められる支援教育<br>1 児童虐待とは<br>2 子どもたちのライフストーリーから<br>3 被虐待児に対する保育現場での支援と教育                          | 事前学習 | 教科書第13章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                |
|      |  | 事後学習 | 児童虐待の影響と求められる支援教育について、まとめる。               |
| 第14回 | 第14章 保育計画の立て方と実践<br>1 保育における計画<br>2 指導計画の立て方<br>3 計画に基づく実践と評価<br>4 幼保小連携の現状と課題                             | 事前学習 | 教科書第14章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                |
|      |  | 事後学習 | 保育計画の立て方と実践について保育実習を意識し、まとめる。             |
| 第15回 | 15章 教育の方法と技術のまとめ—保育者の真の姿とは<br>1 保育者として幼児教育の方法と技術をどうとらえるか<br>2 悩み続ける保育者,それが真実                               | 事前学習 | 教科書第15章を読み、感想をまとめる。(授業で発表)                |
|      |  | 事後学習 | 保育者としてこれまで学んできた幼児教育の方法と技術をまとめ、期末試験の準備を行う。 |